

6次産業化部門

新潟県燕市 株式会社齊藤いちご園
(代表取締役：齊藤 満 氏)



- 経営規模：53a（いちご44a、いちじく9a）

(注) 数字は令和元年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 平成14年、いちごの新潟県オリジナル品種の「越後姫」栽培を開始し、平成22年に観光いちご園を開園。その後、平成29年に法人化し、いちご狩りと自社直売所での販売に特化した経営を展開。
- ・ 2月に収穫する、特大サイズのいちごは、1粒200円程度のパッケージで「ダイヤモンド越後姫」として販売。通常作型に加え、収穫期間を伸ばすため、「超促成作型」を実施し、高単価が期待できる11月から出荷し、2月から6月までは、「摘み取りの出来ない日」を作ることなく長期出荷を実現。
- ・ 自社製造所でジャムや原材料をふんだんに使用したシャーベット、ジェラート、しそジュースを製造し、直売・いちご狩りに次ぐ経営の柱に成長。
また、平成29年に弥彦温泉施設と協同開発したいちごシロップは、温泉施設のレストランに業務用として提供するほか、土産品として販売。平成31年にはソフトクリームを販売するため直売所を拡張。
- ・ 新聞の折り込み広告や高速道路出入り口に大型看板設置、地元FMでのCMなど積極的な宣伝により集客力が向上。
- ・ コロナ禍でいちご狩りは激減したものの、近隣量販店、直売所、インターネット販売で売り上げ増。今後は、贈答用にセット商品を作成し販路拡大を図る予定。